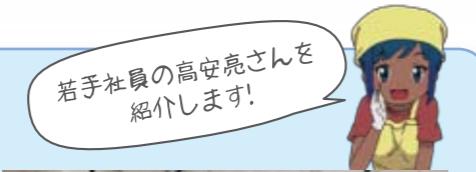


世界に認められる
塩づくりに携わるのは
大きなやりがい。

株式会社 ぬちまーす
製造部 高安 亮さん



コンピュータで制御された工場で作業を行う
高安亮さん

琉球大学の機械システム工学科を卒業し3年前に入社。工場で塩の乾燥を行う機械のメンテナンスや作業効率の向上を担当。品質の安定を図ることが第一で責任は重いですが、沖縄に素晴らしい塩があることを日本中の人に知ってもらいたい。いつか世界中へはばたく塩になればうれしいですね。自信は大いにあります!

しかし、露地栽培が減り、食の欧米化もあって県民のミネラル摂取は減少。日本人の慢性的なミネラル不足が生活習慣病の原因のひとつだと警鐘を鳴らす専門家もいます。高安さんは、「三十七億年前に生命が海で生まれ、母親の海水が海水に近いことを挙げ、「人の体内には海水があるが、それが失われつつある。

人類を救う塩として企業の 信念姿勢をアピールしたい

「ぬちまーすは塩分が少なく、カリウムの作用でナトリウムが体内に残らない。従来の塩とは全く異なるので摂取量の目安も従来とは異なって当然」と高安さん。講演や執筆活動を積極的に行い、海のミネラルバランスを持つぬちまーすの広報や周知を徹底したいと考えています。また、製造のムダを省くなどしてコストや単価を下げる努力を行なってきました。しかし、一人でも多くの消費者の求めやすさ、使いやすさを追求することも忘れません。美ら海のミネラルが人類を救う力がとなるか…、今後の同社の動向から注目が離せません。

世界初の製塩法が世界から認められたのね。
世界から認められた世界から
「海水から水分だけを除去する世界初の製塩法で特許を取り、世界で最もミネラル豊富な塩をつくれた」ことが評価につながったと思う」と高安さん。カリウムやマグネシウム、その他の海洋成分が豊富なぬちまーすは、塩分(ナトリウム)が少なくて常温に近い温度で結晶化しているので、再びイオン化やすく、吸収もされやすいのだと。ミネラル不足の現代人に多くのメリットをもたらす塩として世界から熱い視線が注がれています。



世界初の「常温瞬間空中結晶製塩法」で完成した21種のミネラルを含む「ぬちまーす」

飛び出せ!! OKINAWA



ヒト・モノ・企業のグッジョブ

株式会社
ぬちまーす

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている
ヒトやモノ・コト、企業のあふれる
パワーをお届けします。



宮城島の海を見下ろす高台に立つ
「株式会社ぬちまーす」



ぬちまーすの関連商品が販売されているショップ



株式会社 ぬちまーす
代表取締役社長
高安正勝さん

ミネラル含有種は現在二十一種で、世界的な食品の品評会、 mondセレクションでも金賞・最高金賞を連続受賞したほか、文部科学大臣表彰・科学技術賞、特許庁長官表彰(知財功労賞)など国内外の栄えある賞を受賞。昨年八月には台湾の大手飲料・ナプリメントメーカーがスポーツ飲料の原料としてぬちまーすを輸入するなど、世界から注目されています。

四方を透明度の高い美しい海に囲まれている沖縄県。株式会社ぬちまーすでは、海水の粒を細かな霧状にして瞬時に乾燥させる「常温瞬間空中結晶製塩法」で、世界十三万国で特許を取得。従来の塩づくりでは失われるにがりのカルシウムや力がそのまま残った同社の塩「ぬちまーす」は、二〇〇〇年一月にミネリウム・マグネシウムなどの海洋成分がそのまま残った同社の塩「ぬちまーす」は、二〇〇〇年一月にミネラル含有種十四種類でギネスに認定されました。



美ら海と世界初の特許技術が育む「ミネラル世界の塩」

「東南アジアのある国から、常温瞬間空中結晶製塩法で塩をつくって欲しい」との依頼があったが、現地の汚れた海を見て、「この海水ではできない」と断った。沖縄の海の美しいことを再認識し、ぬちまーすが沖縄だからこそできた塩だと確信した」と話すのは、株式会社ぬちまーす代表取締役社長でこの製塩法の発案者である高安正勝さん。

台風が多い沖縄では、海のミネラルを多く含んだ暴風雨が降り注いだ畑や土壤の作物からミネラル分を摂取でき、それが健康長寿につながってきました。



ギネス認定やmondセレクション金賞、文部科学大臣表彰・科学技術賞など、国内外の数多くの賞を受賞



沖縄国際アジア音楽祭
2012年3月16日~18日開催!



健康に直結している
ミネラル分の大切さ